

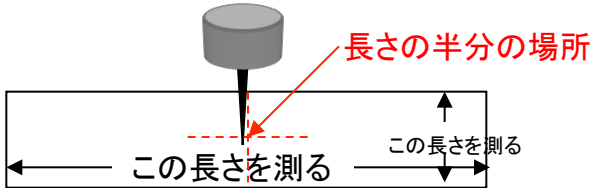
かんたん竹とんぼの作り方

どこ竹@竹とんぼ教室

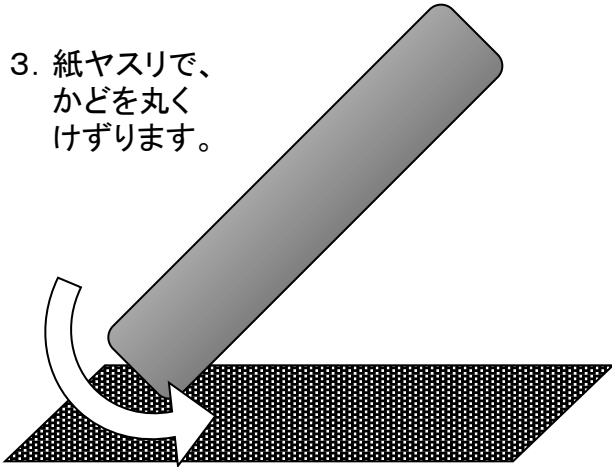
1. 材料の、丸くなっている竹の皮のところが上(おもて)です。これが竹とんぼの「はね」になります。



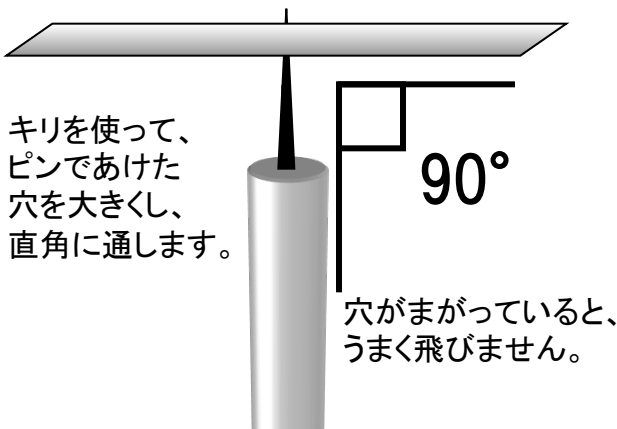
2. 材料をひっくり返し、長さ、幅(はば)を測り、半分のところに線を引きます。その交わったところに、ピンでかるく穴をあけます。



3. 紙ヤスリで、かどを丸くけずります。



4. キリを使って、ピンであけた穴を大きくし、直角に通します。



5. 翼の左右の重さのバランスをとります。テスト用の軸を付けて、ガラスコップのふちで確認。重いほうの翼を紙ヤスリで削り、軽くします。再度、バランスを確認し、翼がクルクル回ようになったら、左右の重さが同じになったのです。

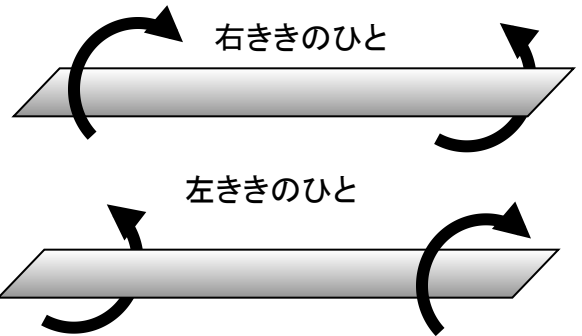


6. 材料の中心のところを、手でさわってあつくなるまで、うらとおもてを火であぶります。



竹をこがさないよう注意！(アルミ箔でまくなどします)

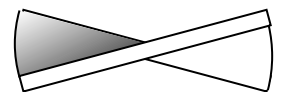
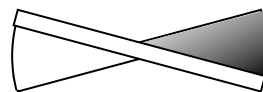
7. 竹のりょうはじを手でもってひねり、1分間そのままにしておきます。右ききのひとと、左ききのひととは、まげる方向が反対になります。



8. 横からみてこのようなひねりができるまで、何回かに分けてまげます。このひねりが、竹とんぼを飛ばすために大事です。

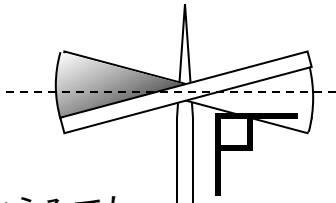
右ききのひと

左ききのひと

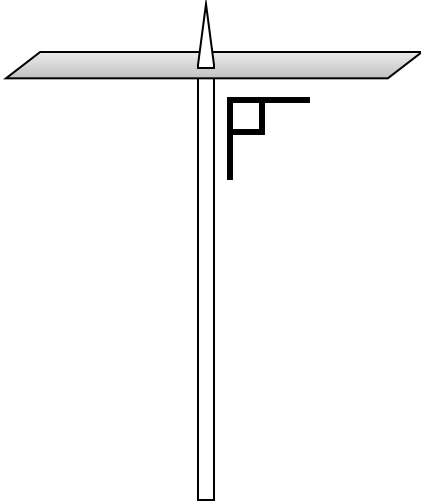


次のページへ

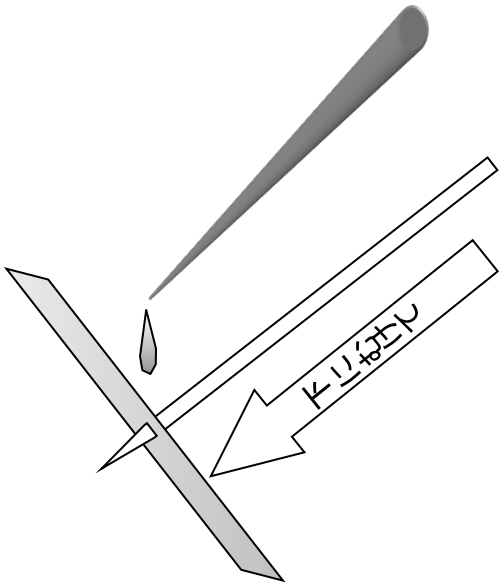
9. 竹ぐし(じく)を、はねの中心の穴に、まっすぐにさしこみます。



前からみても、横からみてもまっすぐになっていることが大事です。



10. はねとじくのつなぎめに、瞬間接着剤をたらして、かたまるまで20秒間待ちます。



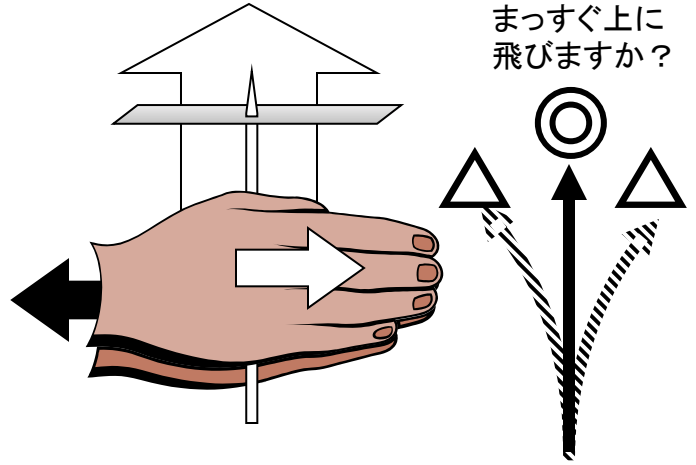
接着剤は、指や服につかないよう、気をつけましょう。(量を少なく、米粒の1/3くらいが適量。少し出す練習をする)

11. 接着剤がかたまったら、飛ばしてみましょう。

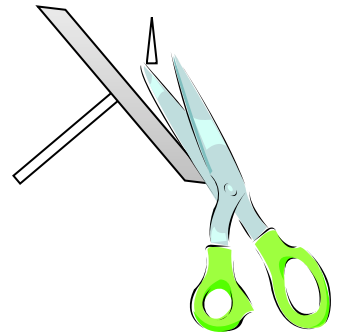
右ききのひとは、

- ①左手を壁のように止めた状態にして、
- ②右手を押し当てて、前におしだす。

左ききのひとは、その反対です。



12. うまく飛ぶようになったら、じくのとがっているところを、はさみで切りましょう。(とがったままだと、あぶないからです)



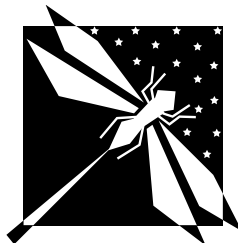
13. いろんなあそび方があります。

- ①高く飛ばそう。
- ②遠くへ飛ばそう。
- ③長い時間飛ばそう。
- ④まともに当てよう。

どんなあそび方をしてもいいですが、

人にむけて飛ばさないこと。

これだけは気をつけましょう。



おしまい